

## 第四期武蔵野市コミュニティ評価委員会 第3回議事録

日 時 令和元年6月27日（月曜日）午後7時～午後9時  
場 所 芸能劇場小ホール  
出席者 玉野委員長、深田副委員長、佐藤委員、青木委員、寺島委員、小島委員（名簿順、敬称略）  
事務局（市民活動推進課長 ほか5名）  
欠席者 なし  
傍聴者 3名

### <次第>

#### 1 開会あいさつ

#### 2 議事

##### （1）コミュニティ協議会との意見交換会について

- ① 意見交換会（詳細版）の共有
- ② 各コミュニティ協議会に関する基礎情報の共有

#### 3 閉会

### <配布資料>

資料1 各調査の実施状況  
資料2 意見交換会の進め方（案）  
資料3 コミュニティセンターの利用状況  
参考資料 各コミュニティセンターに対する個別質問項目（第2回委員会より）  
参考資料2 コミュニティセンター利用者アンケート  
参考資料3 無作為抽出市民調査票  
参考資料4 事前調書

<議事録>

1 開会あいさつ

(1) 開会

【委員長】 武蔵野市コミュニティ評価委員会を始めさせていただきます。

最初に、資料の確認を事務局のほうからお願いできますでしょうか。

(2) 資料の確認

【事務局】 資料の確認をさせていただきます。

まず、次第がございまして、次に資料1「各調査の実施状況」、資料2「意見交換会の進め方(案)」、資料3「コミュニティセンターの利用状況」となっております。

本日は参考資料をつけております。参考資料の1としまして、「各コミュニティ協議会に対する個別質問項目」というものをまとめております。これは第2回の委員会で各委員から頂いた質問をまとめた表です。次に、参考資料2としまして、「コミュニティセンターの利用者アンケート」をつけさせていただきました。こちらは第1回で議論いただいたものです。参考資料3「無作為抽出市民調査票」ですが、こちらは各委員にご確認いただいた確定版を添付させていただいています。続いて、参考資料の4として「事前調書」です。コミュニティ協議会に意見交換会に向けて事前にご記入いただく用紙となっております。

また、委員限りではございますが、第2回の委員会のときに、傍聴の方からご意見を頂いております。まとめた資料を最後につけさせていただいております。参考に添付させていただきました。以上でございます。不足はありますでしょうか。

最後に、市報をつけさせていただきました。第六期長期計画の計画案が策定されまして、コミュニティ評価委員会について記載がございましたので、こちらで紹介をさせていただきます。この計画は、10年を見通していく計画ということで定められているのでございます。

1枚おめくりいただきまして、表紙の裏面になりますけれども、2ページ目、左上に、目指すべき姿、基本目標・基本課題というのがございます。こちらの基本目標・基本課題の表題の右側に図がありまして、からEまでの基本課題が縦列に、そして基本目標が①から⑤まで記載されています。

この表のすぐ下の本文のところで、基本課題のEがございます。「参加・協働のさらなる推進」というところです。こちらが、このコミュニティづくりにも影響する課題と位置づけられております。「地域における公共的な課題は多様化・複雑化してきている。これらに対応するためには、様々な立場の人々が課題や目的を共有し、知恵を出し合い役割を分かち合っ

て取り組んでいく必要がある」云々と書いてあるところがございます。こちらが基本課題として掲げられた上で、分野のほうに入っていきますが、2枚ほどおめくりいただきまして、6ページ、7ページをご覧いただければと思います。

6ページの真ん中下、「平和・文化・市民生活」ということで一つの分野になってござい

まして、その右側の7ページ2列目の中ほどになりますが、基本施策の4「地域社会と市民活動の活性化」という項目がございます。こちらの1番目に、「市民同士の語らいや連携による豊かな地域社会の進展」というのがございます。この本文に、この評価委員会の記載項目があるところがございます。

『『これからのコミュニティ』の議論から生まれた地域フォーラムやコミュニティ未来塾むさしのの振り返り、コミュニティ評価委員会によるコミュニティづくりの評価を踏まえながら、今後も市民同士が語らう機会の創出や協働を生み出す環境づくり、行政による地域の実情に即した支援を継続していく。

また、地域における多様な活動がコミュニティセンターを拠点として行われ、互いに連携し、協力しあいながら展開されるよう、これからのコミュニティセンターに必要な機能について検討する」となっております。

中ほどに、コミュニティ評価委員会の名前があって、2段落目の「コミュニティセンターに必要な機能について検討する」というところも、この評価委員会で検討する内容となっておりますので、この記載があるということでご紹介をさせていただきました。

以上でございます。

**【委員長】** どうもありがとうございました。それでは、早速議題に入らせていただきます。

まず、コミュニティ協議会との意見交換会に向けてということで、この間、メール等々でもいろいろご案内があったかと思っておりますので、今日の本題に入る前に、まずそれについて事務局から説明をお願いいたします。

## 2 議事

### (1) 調査実施概要について

**【事務局】** 資料1をご覧ください。評価委員会を進めていく上で、各種調査を行っております。どのような調査を進めているのか、各調査がどのような状況になっているのかというのを、改めてご説明させていただきます。

まず(1)の利用者向けアンケート調査についてです。調査票は、参考資料2の利用者アンケートです。そちらを4月20日ごろから5月20日ごろの約1カ月、各コミュニティセンターに設置をさせていただきました。現在、休館をしているセンターを除く、コミュニティセンターから利用者アンケートを回収しまして、意見交換会に向けて集計を行っております。

回収状況について、四角で囲ったところですが、⑨中央コミセンは、現在、給排水工事で休館中でして、こちらは8月にオープン予定です。ですので、中央コミセンのみは、8月1日から8月末までの1カ月間、改めて利用者アンケートを行います。この中央コミセンの124件というのは、分館の中町集会所の回収件数となっております。

(2)無作為抽出市民調査。こちらは委員にご確認いただきまして、参考資料の3につけさせていただきました。こちらを正式に印刷をして、7月上旬ごろに2,500通を発送予定で

す。

続きまして、(3) 事前調書について。こちら委員の方にご確認いただきまして、本日、コミュニティ協議会の皆さまにお配りしました。7月12日をめどにご記入いただき、早急に集計をして、事前に皆さまにお目通しいただければと思っております。

現在の各種調査については、以上でございます。

【委員長】 この間、いろいろ委員の方にもメールで確認をしていただいたものが、一応最終的なものとして、今日は参考資料としてありますので、ご確認をいただければと思います。

これについて、何かこの場でございますか。まだ足りないこととか。とりあえずよろしいでしょうか。

それでは、一応これまでの経緯をお尋ねした上で、議題の①意見交換会の進め方の共有ということで、議題に入りたいと思います。まず、当日のタイムスケジュール等について確認をしておきたいと思っておりますので、事務局から説明をお願いいたします。

#### ①意見交換会の進め方（詳細版）の共有

【事務局】 資料2をご覧ください。

意見交換会については、当初は1協議会当たり20分を想定していましたが、前回の委員会でも質問事項も多く出していただきましたので、30分としたいと考えています。「2. 意見交換会の進め方」に、タイムスケジュールを記載しております。

冒頭、市から意見交換会をどのように進めていくかの説明を行った後、共通質問と個別質問に分けて、委員から各協議会に質問をしていただこうと思っております。記載している共通質問は、全協議会に聞いていただければと思ひまして、事務局で考えたところがございます。

事前調書の間3、協議会の皆さんから見た「大切な事業」を、事前調書でご記入いただくことになっていますが、そこから、聞いてみたい事業の一つを選んでいただいて、質問をしていただこうと思っております。続きまして、事前調書の間4、地域とのつながりについての取り組みについてご記入していただく予定ですので、それについても一つを選んでいただいて、質問をしていただこうと思っております。

また、時代に合わなくなったり、新しいことをやるために費用を捻出する必要があるといった理由から、大きな事業の見直しや、やめた事業があるかどうか。その成功体験ですとか、苦労した点などを、各協議会の皆さまに聞いていただければと思っております。

そのほか、個別にその協議会の特徴に合わせた質問などを選んでいただければと思っております。

後半については、コミセンの機能、ハード面についての質問を想定しております。「コミュニティづくりを進めていく上で、センターにとってどのような機能が必要だと思ひますか」などです。また、「コミセンのどんな機能がコミュニティづくりに役立っていると感じていますか」といったもの。また、分館があるコミュニティ協議会については、その分館が

コミュニティづくりにどのように役に立っているのかなどを聞いていただければと思っております。

コミュニティづくりについてと同じように、ハード面についても個別質問を入れていただければと思っております。

最後に、各協議会から、評価委員会にPRポイントですとか、言い足りなかったことなどを発言していただこうと考えております。

以上でございます。

**【委員長】** 大体の構成については、こういう形でどうかということで、事務局のほうで考えていただいています。共通質問の①は調書の問3、問4の中から選んで質問することになっているので、質問①は分担して考えておいていただいたほうがいいと思いますので、こちらは皆さんに手伝っていただければありがたいかなと思います。

事務局のほうで、その都度、出席なさる方を踏まえて、①の部分だけ、誰が担当するかを割り振っていただけますか。それに従って、各委員の方々に事前に考えてきていただいて、共通質問の問3と問4については、どういうことを聞くか、担当の部分を考えていただいて、質問していただくということで、分担させていただけるとありがたいです。

あとは私のほうで進めて、個別質問については、それぞれの方が関心のあるところで聞いていただければいいと思いますし、内容については、今日も参考資料で出ていますけれども、この委員会での検討を踏まえて、いくつか確認したいことがありますから、これを見ながら各委員の方が自由に聞いていただければいいかと思います。

質問の①については皆さんで分担をさせていただき、それは事務局のほうで分担を考えていただくということで、質問②については、私のほうで一律に聞かせていただいて、①、②両方の個別質問は各委員の方がご自由に言っていただくという進め方でお願いできればと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、当日の進め方の手順については、これでよろしいでしょうか。

各協議会との間に15分ぐらいバッファがあるので、少し延びても大丈夫という形になっております。順番にいらっしゃってとお願いしているのですが、間に15分ぐらいあります。休憩もなくやるのは大変ですから、そういう形でできればと思っております。ですから、各委員会の始まる前に、少し打ち合わせの時間があるかと思っておりますので、そのときに、①について、誰がということも確認しながら進められればと思います。

当日のイメージは、以上で大体よろしいでしょうか。

**【副委員長】** 進め方についてはいいと思います。細かいことで恐縮ですが、共通質問の②について、前回も委員から話があったのですが、この「機能」と施設や設備のハード面についてです。「機能」というと、どちらかというソフト面と捉えられると思います。もし、施設や設備を聞くのであれば、センターにとって必要な施設や設備は何ですかというふうな、むしろ単刀直入に聞いたほうがいいと思います。

「機能」となると、例えば相談機能とか、あるいは情報発信機能というような、むしろそ

ういうものなのかと私は感じているのです。その辺を分けて明確に聞いていったほうがいいという感じがしていますが、どうでしょうか。

【事務局】 ありがとうございます。そうですね。後半部分、共通質問の②のほうは、やはりハード面について聞きたいというところがございますので、今、副委員長がおっしゃられたように、施設や設備というふうには、機能のところを入れかえて、誤解のないような質問にできるようにしたいと思います。ありがとうございます。

【委員長】 では、改めて、共通質問の②は、主にハード面でどういうものが必要かを聞くということで確認しておきたいと思います。ほかに何かございますか。

それでは、意見交換会はだいたい先になりますけれども、一応こういう形で進めさせていたければということで、ご確認をお願いいたします。

#### ②各コミュニティ協議会に関する基礎情報の共有

【委員長】 それでは、今日の大変な仕事が残っているのですが、各コミュニティ協議会の内容の確認と、どういうことを聞けばいいかという論点を出すという作業です。各コミュニティ協議会に関する基礎情報の共有と、その質問項目の割り出しを進めたいと思います。議題の②になります。

やり方ですが、前回もそうでしたけれども、資料がお手元に前もってお渡ししてありますが、改めて一応事務局から簡単に概要を説明していただいた上で、各委員より、「この協議会ではこのことが大事だから」という形で出していただいて、出たものについては事務局で記録をしていただいて、今日の参考資料で入っているような形でまとめていただくようお願いいたします。

それでは、早速、資料3の⑥から⑩ということで、この順番でよろしいですね。では、⑥の吉祥寺西コミュニティ協議会からお願いいたします。

#### ⑥吉祥寺西コミュニティ協議会

【事務局】 では、吉祥寺西コミュニティセンターの概要についてご説明させていただければと思います。

最寄り吉祥寺駅ですけれども、駅から少し離れたところにありまして、井ノ頭通りから北に少し入ったところにあります。1日の利用人数は平均すると131人が利用しております。過去の3年間の利用人数はほぼ横ばいで、利用の回数としては、サロンと読書学習室、プレイルームが比較的利用の割合が多いコミュニティセンターとなっております。部屋の数は10部屋ございます。

分館を持っているところも特徴です。この分館は、もともと市の出張所の機能があったのですが、その跡地を地元への還元施設として、吉西コミュニティセンターの分館として、今持っている状況でございます。分館は常に人がいるわけではなくて、予約の申請があると、管理人にそちらの鍵の施錠などをしていただいて、市民の方に利用していただいている状

況でございます。

主な事業ですが、これはあくまで事務局が選んだものですので、協議会の方からすると、違う事業を入れてほしいということもあるかと思うのですけれども、こちらに記載させていただきました。井ノ頭通り沿いの近くにあるということで、その美化活動に力を入れているのだろうということと、小学生向けの「あそぼうよ」というイベントを開催したり、「あるこうかい」「あじさいひろば」などを行ったりしています。

自己評価としては、「小中学校との連携が以前より密になったことで、生徒や保護者がコミセンの活動に対し協力的になった」、その下の「市報やポスターによるPRの効果で、徐々に取り組みが広がりを見せていると感じる」などと成果に挙げておりますので、そういったところが具体的に聞けると、地域とのつながりという面でも参考になるかと思いました。

【委員長】 概要はそういうところですか。よくご存じの方、あるいはあまり存じ上げない人もいますけれども、委員の中でも、何かご発言がありましたら、よろしく願います。

【委員】 やはり分館がございますので、分館の利用者数等は出ておりますけれども、例えば協議会主催の事業が分館でどのぐらい行われているのかなどはお伺いしたいと思います。コミュニティづくりに分館がどのように利用されているのか、そのあたりをお伺いしたいと思います。

【委員長】 分館はすぐ近くにあるのですか。

【委員】 そうですね。5分ぐらいのところにあります。

【委員長】 先ほども出ましたけれども、分館を持っているところが三つぐらいあるようですが、それがどういう役割を果たしているかは、一般的にやはり聞かなければいけないことだと思います。資料を見る限りでは、非常に安定して、利用は多い感じではないですか。とりわけ学校との連携が以前より密になってきたということで、どういう背景や原因があるのかと思いますけれども、何かご存じの方はいらっしゃいますか。

【副委員長】 学校区域としては一小と井之頭小があるのですが、特に去年、一小、井之頭小の児童生徒さんの作品をコミセン祭りでぜひ展示したいということで声をかけたところ、参加していただきました。その前には、井之頭小学校の学童クラブが併設されておりました。それが今は学校のほうにあるわけですが、もともとコミセンに併設されておりましたので、その学童クラブの保護者の方がコミセン祭り等で手伝っていただけます。

それから、先ほどの事業の中で井ノ頭美化活動がありますけれども、一中のテニスクラブがありまして、その生徒さんが去年の秋ぐらいから手伝ってくれるようになりました。それまでは10人前後でやっていたのですが、一挙に17人ぐらいになりました。そういう関係がだんだん出てきた感じです。

【委員長】 どうもありがとうございます。あまりここで詳しく聞いてもあれですが、ほかの協議会でも多かれ少なかれそういうことはあると思いますので、学校との関係はどうなっているかというのは一つのポイントかもしれません。

【委員】 「あじさいひろば」の吉祥寺西福祉の会との連携の事業は、もう少し具体的なことを伺えればと思っています。先日、日曜日にたまたまご一緒させていただいたのですが、そこまで踏み込んだご発言はその方からはありませんでした。

逆に言うと、地域社協との関係をどう捉えていらっしゃるのかというコミセンとしての視点もあります。地域社協とコミセンとの関係はコミセンごとによって色合いというのか、密度というのか、違うところがあるので、具体的にどういう活動を、どういうペースで、どうなっているのかも教えていただきたいと思います。

【委員長】 今、出てきた小学校、中学校と、あと社協との関連も、とりわけこういう住宅地の周りにあるセンターについては、そこが一つのポイントかと思います。駅の近くのコミセンとは、また違う事情があると思います。ほかに何かございますか。

【委員】 吉西コミセンは本当に住宅地の中にあり、しかも敷地にすごく余裕があって、道路からも引きがあって、裏にも庭があるという、非常に恵まれた建ち方をしているのが特徴だと思います。ただその外部空間というのは、多分利用しにくいところがあって、その建ち方がどういう使われ方につながっているのかが興味があります。

あともう一つは、1階のサロンの部分です。そこは予約をしなくても使える場所だと思います。どのコミセンでも共通だと思うのですが、そこはどう使われているのかをお聞きしたいと思います。

【委員長】 どうもありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。ここは学習室の利用も多いですか。

【事務局】 学習室の利用割合は多いです。8室ある中でサロンと読書学習室、プレイルームの利用割合が多いですね。

【委員長】 そういうことから、日ごろから小中学生が利用していることなどが関連づくでしょうし、周りのオープンスペースをどう活用しているかというのは、多分、行事ごとにいろいろな工夫があるかもしれませんが、それも一つ確認して、可能なところはまねをすることも考えたほうがいいかと思いました。

ほかはいかがでしょうか。

【委員】 美化活動についてお話ししようかと思ったら、副委員長が詳しくお話ししてくださいました。いろいろな団体をつないで、まちがきれいになるというのは、とても素晴らしい事業だと思っています。それで、月2回と書いてあり、人数が増えているのか、減っているのかをお聞きしたかったのですが、学生さんがお手伝いしてくださるということで、増えているということでしたので、とてもいい事業だと思っています。

【委員長】 あまり時間もないものですから、いろいろ観点も出てきたかと思いますので、吉祥寺西コミュニティ協議会についてはこのぐらいにさせていただきます、次に、⑦の吉祥寺北コミュニティ協議会の概要をお願いします。

#### ⑦吉祥寺北コミュニティ協議会



【事務局】 吉祥寺北コミュニティセンターは、一番近い駅としては吉祥寺駅ですが、北に向かって歩いて 20 分ぐらいのところに位置しております。1 日の平均利用人数は 239 人です。ここ 3 年間を比較すると、多少ではありますが減少傾向となっております。部屋は 11 部屋あるのですが、その中で比較的利用割合が高いところは、ロビー、体育館、学習室となっております。

特徴としては、体育施設を持つコミセンは三つあるのですが、その一つがこの吉祥寺北コミュニティセンターだということです。特に注力している事業は、脳トレ体験講座、親子で楽しむプログラミング体験教室、親子劇場、人形劇団こぼんによる人形ファンタジーの上演、七夕笹かざりとなっております。

自己評価として、特に気になったのが、「運営委員に世代交代の流れが感じられた」と記載されている部分です。ほかの協議会では担い手の固定化などの課題があり、吉祥寺北コミュニティ協議会で何か違う取り組みなどがあるのかと感じております。

【委員長】 利用者はここ 3 年で若干減っていますが、結構変化があるような感じなのでしょうか。工事などの背景があるとしたら、ご紹介いただければと思いますけれども、利用回数についてはあまり変わっていない感じですね。これについては、何かございますか。

【委員】 吉祥寺北コミュニティセンターは、四小のほかに保育園も近く、特徴的な事業や特に注力している事業が、小さいお子さんも対象としたものが多いので、そのあたりも伺ってみたいです。また、脳トレ体験講座も含めて、やはり体育館がありますので、そのあたりも伺ってみたいと思っております。

【委員長】 ここは小中学校よりもう少し小さいお子さんとの関連が何かあるのではないかというのが一つですね。あとはやはり体育館があるのが一つの特徴です。地域的に子どもが多いとか少ないなどの情報は何かありますか。

【事務局】 先ほど見ていただいた吉祥寺西コミセンは、武蔵野赤十字保育園が非常に近くにあります。今、ごらんいただいている北コミュニティセンターは、隣に保育園がございまして、本当に一つの敷地かと思うぐらいの距離感でのつながりがありますので、それがこのコミセンは特徴的です。

あと、道向いに吉祥寺ナーシングホームがございまして、こちらには逆にご年配の方がたくさんいらっしゃる場所ですので、近接に施設があるという意味では、つながりをつくりやすい環境にはあると思っております。

【委員長】 やはり地域ごとの年齢構成なども、多分、影響してくると思うので、ある程度そういうのを頭に入れておいたほうがいいのかと思います。

【委員】 四小は今年 1 年生が 3 クラスになりましたので、そういう意味でも、地域の子どもたちが増えている学校に隣接しているコミセンという気がします。あとは、特徴的なことは、ここでは触れられていませんけれども、ロビーにあるグランドピアノがあります。このグランドピアノはあそこのコミセンにとっては財産で、先般の北コミセンの 40 周年のときも演奏をされていましたし、住民総会などでも活用されていますので、体育館もさることな

がら、ロビーのピアノもコミセンにとっては大事な、市民と市民をつなぐツールの一つという気がします。

【委員】 こちらもすごく特徴的な建ち方をされていて、斜面になっているところに建っているのです。それもあって、以前、水害の被害がありました。入ると1階ですが、また地下のほうも地上に面しているようなかたちで、そちら側にも出入りができる場所があります。そういう建ち方が、もっと生かせる場所もあるのかという気がしていますので、その辺もお聞きしたいです。

あと、今、おっしゃいましたけれども、ロビーの使われ方がすごくうまくできているような気がするので、その運営の仕方もぜひ突っ込んでお聞きしたいと思っています。

【委員】 ロビーの使われ方の具体としては、以前、当時の防災安全部長、今の副市長でいらっしゃいますけれども、がいらっしゃって、コミセンと地域福祉の会と老人会の3者が共催での講演会でお話をさせていただく機会がありました。たまたま私も伺ったのですが、大変盛況でございました。コミセンのロビーは本当に多岐にわたって使われているということですね。そのときの印象としては、空間の使い方がいろいろあるなと思ったことがございます。現在はそういう機会があるのか、ないのか承知はしておりませんが、当時はなかなか大勢集まっていらっしゃったという記憶がございます。

【委員】 ここで地域社協との兼ね合いがあまり書かれていないのですが、運営委員の中には地域社協の代表がいて、どのようにコミセンの中でお互いに切磋琢磨しながらやっているのかどうかということもお聞きしたいと思います。さわやか祭で、子どもたちにペットボトルでおみこしをつくって、非常におもしろい企画をされているので、その発想力の豊かさなども聞いてみたいと思います。

【委員長】 世代交代が進みつつあるというのは、どなたか何か情報がある方はいらっしゃいますか。なければ、意見交換会で聞けばいいと思いますけれども。

今さらすごく基本的なことを聞いて申しわけないのですが、武蔵野市としての人口は、今どうなっているのですか。まだ増えていますか。

【事務局】 今増えています。数年前まで数十年間ずっと13万人台だったのですが、今は14万人台になっていて、さらに増えるのではないかと予測されています。

【委員長】 少子化ではなくて増え始めている。だから、子どももそれなりにいるという状況なのですね。わかりました。

【副委員長】 重複になると思いますが、先ほど委員長からお話がありました利用者数ですね。特に平成27年度から28年度に劇的に増えています。1万人ちょっと増えていますので、何が原因か、何か新しいことをやってそうなったのか、その辺はぜひ聞きたいと思います。また、成果として「プログラミング教室等の新規企画に取り組んだ」とありますが、それ以外に何か新規企画に取り組んだのかどうかをお聞きしたいと思います。

【委員長】 今、プログラミング教室と聞いて思い出したのですが、たしか何年前に、やはりパソコンの講習が多かったところではないですか。そんな記憶がありますけれども、詳

しい市民の方が教室を開いてやっているということが、その流れがひょっとしたらあるの  
かもしれません。

#### ⑧ けやきコミュニティ協議会

**【事務局】** 8番のけやきコミセンです。

場所としては、吉祥寺駅と三鷹駅の間あたりを北に行ったところにあります。1日の平均  
利用人数は186人、直近3年間の利用者数の傾向を見ると増加傾向となっております。全  
部で10部屋あるうちの、利用割合で見ると、コミュニティルームとホール、学習室の利用  
割合が高いと出ております。

事業としては、まちづくりフェスタ、野外映画を上映し、手づくりおでんで温まりながら  
映画を鑑賞するなどです。あと、「けやきこもれびひろば」、ナイトウォークなどをやられて  
おります。

自己評価として、「利用者のことを考え、役割分担の各係がスムーズに運営できるよう工  
夫した」などということが成果として挙げられておりまして、こういったところが聞けると  
参考になると思いました。

**【委員長】** これについては、なにかありますか。

**【委員】** 主な実施事業の中のナイトウォークがありますが、これは特に注力している事業  
ではないと思います。まちづくり局13チームある中の一つの事業ですので、ちょっと違う  
かなと思います。

それと、利用者数が少し増えたということについては、首都大学の学生さんの調査によっ  
て、和室の畳敷きを机にしました。そうしましたら、2部屋が利用される人数が多くなって、  
それもよかったかなと思っています。

それから、「利用者のことを考え、役割分担の各係がスムーズに運営できるよう工夫した」  
というのは、運営委員が50名以上いるのですが、運営委員1人1役になっていただいでい  
るという現状があります。そうしますと、コミセンに立ち寄る回数も増えるし、コミセンも  
よくわかるということで、みんなそれぞれ1人ひとりが輝けるように、全ての人に役を担っ  
ていただいています。

**【委員】** その一つの例として、けやきコミュニティ協議会の窓口は、いつも3人とか4人  
とか大勢いらっしゃいます。そんなコミセンはあまりありません。今、まちづくり局とおっ  
しゃいましたけれども、これはけやきのいい意味での特徴だし、こういう考え方でコミュニ  
ティづくりに進んでいるところのコミセンの最右翼というといけないのかもしれませんけ  
れども、ある意味、抜きん出ているところかなと思います。

また、自己評価のところにある、3大イベントのけやきまつり、夏まつり、どんど焼きを、  
主な実施事業のほうにも持っていてもいいのかなと思います。けやきコミセンには私も  
よく伺いますが、実施事業に挙げられているものだけではなく、むしろ自己評価の中の3大  
イベントをお書きになったほうが、けやきの実態には合っているような気がいたします。そ

れから、自己評価の「③コミュニティ活動のネットワーク化」が、ずっとで来ていて、30年になっっていますが、自己評価が厳しくないかと思うので、それも伺ってみたいと思います。

【委員長】 これについては、当事者がいろいろいらっしゃるので、当日に、利用者が増えた背景であるとか、主なイベントであるとか、あるいは、他のコミセンと比べて、非常にかかわる方が多いわけですがけれども、その秘訣であるとか、そんな形で、こうやってうまくいっているというところを引き出す形で聞いていくことを考えればいいかと思います。

【副委員長】 練馬区と隣接しているコミセンなので、いわゆる市外の利用者の取り扱いという変な言い方ですがけれども、どういうことをされているのか。例えば、何か条件をつけているのか、あるいは全く近隣ということでやっているのか、その辺の悩み、課題があるのか、ないのかについてもお聞きしたいと思います。

【委員】 けやきコミュニティ協議会は事業に非常に特質があるということなのですが、それ以外にも、やはり自主防災組織も含めて、非常によくやっていたらと思っていますので、その他の団体のつながりもお伺いできたらと思います。

【委員】 今はなくなってしまったのですがけれども、子どもにとってのミニタウンはとてすばらしい企画でした。大野田小学校で数年にわたり展開され、その後はコミセンの中でも展開されていました。私も少しだけかかわらせていただいたのですがけれども、ああいうことができるコミセンというのは、16 コミセンある中で、まずないものです。あの展開をしていった若い人たちが、今、大学生になっているので、次の担い手が視野に入っているコミセンかなという気がします。あのとき小学生、中学生だった子が、もう大学生になったのですよね。

よくコミセンにとっての人材が問題になりますけれども、かつての取組に参加していた人たちがまた戻ってくれば、今後、期待できるコミセンだろうと思っています。

【委員長】 けやきは、前から非常に活発なコミセンとして注目されていて、いろいろ聞きたいことがあるかと思いますが、大体こんな準備でよろしいかと思います。

では、次に進ませてください。中央コミセンの概要をお願いします。

#### ⑨中央コミュニティ協議会

【事務局】 中央コミセンの位置は、三鷹駅を北に進み、徒歩で15分から20分ぐらいかかるところにあります。

中央コミセンは分館がありまして、本館のところには、昔市役所の分館がありました。その後市役所は現在の場所に移転し、中央コミセンがその跡地を本館として利用している状況です。もともとは分館の中町集会所が本館だったのですが、そこは今でも2人の窓口担当者が常駐し、利用者のご案内をしていただいている状況でございます。

1日の利用人数としては、本館は251人、分館は平均すると42人。直近3年間を比較すると、若干ではありますが減少傾向となっております。全部で10の部屋があるのですが、利用割合を見ると、ロビーと多目的室、第一会議室の利用割合が多くなっております。

主な事業としては、もちつきや料理教室などを行っております。その他、特徴的な事業の二つ目、運営委員を対象に、中町集会所で「自衛消防訓練」を実施したとありますので、なぜ中町集会所で行われたのかといったことが聞けるとおもしろいと思いました。

自己評価としては、地域コミュニティを含め各種事業企画の満足度が高く、リピーターも多いという自己評価をされております。

【委員長】 中央コミセンについては、いかがでしょうか。利用者数が減っているのは、何か事情があるのでしょうか。

【事務局】 平成30年度は、12月から給排水関係の工事が始まったので3カ月間休館をしております。29年度から30年度の減少は、その影響だと思われま。

【委員】 中央コミセンは、玄関の反対側が第一中学校です。その生徒たちとの関わりがあり、前は周年行事のときに一中生に壁画を描いていただいたということもありました。今、学校との関係がどうなっているのかをお聞きしたいと思います。

【委員長】 そうすると、ここもやはり社協であるとか学校との関係がどうかというのは一つポイントになるでしょうね。

【委員】 特徴的な事業のところ、改修工事があったせいかわかりませんが、ほかのコミセンさんより館外の事業が多いように思います。バスハイクや館外研修に行ったり、大國魂神社で歴史探訪に行ったりということで、館外の活動も結構あるように書いてあるので、そのあたりも含めて伺ってみたいと思います。

【委員】 今おっしゃった、館外というか、コミセンを離れて行う事業に、運営委員だけがご参加なのか、あるいは近隣の方もご参加されたのか、あるいはどこかの団体と連携してのご提案なのか、その辺も大事な要素ですよ。

それから、2階にあのような広間があるのが特徴的です。ステージがあって、今はフローリングになっているのでしょうか。16あるコミセンの中で、あのような広い部屋を持つのは数少ないところ。その使い方を伺いたいと思います。

また、高齢化が進むこれからの時代、あの施設の階段は大変に思います。利用者からどうい声が上がっているのかも伺いたいことの一つです。建替え計画の中で考慮されていると思いますが、先ほども出ていた分館としての機能も含めて、これは大変なことの一つだと思いますので、あえて触れておきます。

【委員長】 ここは分館があるところですので、分館の意義について伺いたいということがあります。とりわけ、分館がもともとは本館だったという背景も、どのような影響を及ぼしているのか聞いてみたいところ。

【委員】 先ほどのご説明にもありましたけれども、市役所分館からのコンバージョンということで、やはり独特な雰囲気があります。事務所ビルっぽいというか、役所っぽい建物。特にロビーのあたりはそういう雰囲気があるので、それは実際どのように使われているのか。その建ち方が、もともとの機能からコンバージョンしたということが、使い方にどんな影響があるのかも、お話を聞いてみたいと思います。

【委員長】 本館が移って何年ぐらいになりますか。

【事務局】 市役所が昭和 55 年に移転をして、中央コミセンの設立が昭和 57 年 2 月です。

【委員長】 では、やはり大分経っているのですね。

【委員】 現在のコミセンが設立されてどのぐらいというよりも、建物の躯体自体の年数も、考えに入れておかなければならないと思います。更地に建ったコミセンではないということをも十分考えないといけません。

【委員】 建物自体だと、はじめに設立した境南コミセンより古いということですね。

【事務局】 建物自体は、築 50 年ぐらいになります。

【委員】 だから、市役所が今の場所に移転する前からの建物を利用してのコミセンだという意識を確認しないとといけません。それで、今後、公共施設の計画の中でどういう位置づけになってくるのかというところですね。

【委員長】 建物を生かす形でつくっているのでしょうか。

【委員】 解体して更地になっていたわけではないということです。

【委員長】 なるほど。それはある意味で制約のある形だったわけですね。

【副委員長】 分館といっても、吉西コミセンの場合は、管理人のような形で管理しているので、そんなに大変ではありませんが、ここはいわゆる窓口を置いている分館なので、人の配置の苦労はかなりあると思います。そこについてお聞きしたいと思います。

【委員】 いろいろな活動をされています。地域をつなぐとか、地域の団体をつなぐこととか、そういった視点の活動をどう考えているのかを聞いてみたいと思います。

#### ⑩西久保コミュニティ協議会

【事務局】 つづいて、西久保コミセンです。場所としては、三鷹駅から西に歩いて 10 分ぐらいのところにあります。1 日の利用人数は、平均すると 281 人。直近 3 年間の推移としては、利用者数はほぼ横ばいとなっております。全部で 14 部屋ございまして、特に利用が多いのは、ロビー、親子広場、勉強室となっております。

事業としては、多摩湖の往復ナイトハイク、西久保を語ろう会、どんど焼きなどを行っております。

自己評価の成果として挙げているところで、特徴的だと思ったのが、「地域団体とのコミュニケーションがとれていて、共催事業も多い」というところです。また、課題としての二つ目、「行事に参加してもらっても、運営委員になるという段階までは進まない」という課題認識を持っている点も特徴かと思っております。

【委員長】 ここは比較的、他の団体との連携が盛んに行われているようですけれども、その秘訣などが一つ基本になると思います。やはり学校や社協も関連がありそうでしょうか。

【事務局】 近くに学校はありません。ありんこ保育園さんが比較的近いですけれども、それほど規模の大きい保育園ではないです。そういう意味では、あまり周りに施設がなく、住宅街にあるコミセンだと認識しています。

【委員長】 地域団体というのは、具体的に何を想定しているのでしょうか。

【委員】 私が考える地域団体は、地域社協や青少協、あるいは中学校、小学校、あとは自主防災組織ですね。

【委員長】 やはり保育園や学校が近くにあると、まず子どもたちの利用があるが、近くなければ、子どもたちの利用というのはなかなか難しいという感じなのでしょうか。組織としてはいろいろあるとは思いますが、連携はあるでしょうけれども、子どもにとってあまり身近ではないのかもしれないですね。

【委員】 多摩湖のナイトハイクは、何といてもこの地域の継続的に行われている事業の中の特筆すべきことで、それこそ今、別の委員がおっしゃったように、いろいろな団体が協力してなし得ていることです。ここに協議会として具体的にどう関わっていらっしゃるのかも伺いたいことの一つです。

それから、コミセン祭りでは五小の先生方がコミセン祭りにずっと参加されていらっしゃいますが、これから先、どうなっていくかということも含めてお聞きしたい。

けやきコミュニティ協議会のところでお話し損ないましたが、けやきまつりでは、大野田小学校の先生方が多数いらっしゃって、そこで焼きそばをやっていらっしゃるというのも聞いております。西久保コミセンでも五小の先生方、校長先生に何回かお目にかかりました。今後、協議会と公立学校との関わりの中で、学校に地域の方が伺う機会は増えていくと思うのですが、先生方の働き方改革の中で、先生方がコミセンに足を運んでくださることがどう変容していくのか。地域、コミセン、学校という中で、その視点は学校としても持ち続けていただきたいことの一つでございます。

働き方改革が進むなかで、先生方との関りが少なくなると、地域の公立学校という存在が薄れてしまうような気がします。こういう意味でも、西久保コミュニティ協議会のコミセン祭りにおける学校との関わりがどうなっているのか。学校との関わりは無理のない範囲内がいいと思いますが、子どもたちにとっては、学校以外で先生とめぐり会える機会は、ありがたいことなのかなと思っておりますし、けやきコミュニティ協議会のコミセン祭りにおいても、そう感じました。

【委員】 利用の割合で、ロビーと、それから、親子広場もそうですが、勉強室の利用割合が多かったと思います。ほかのコミセンより学校との距離ありますが、行くたびに、子どもたちがロビーに集まっていたりします。子どもたちが集まっている感じが、居場所になっているような印象なので、そのあたりを伺ってみたいと思っています。

【委員】 コミセンとして、基本的に、小中学生たちをしっかりと受けとめる体制ができていて、その一つだと、僕は外から見て思います。

【委員】 距離ではなくて、子どもたちにとっての場としてのコミセンができているのだと思います。

【委員長】 どうも学校とのかかわりは多面的で、子ども自身がどう関わるかということと、教員や父母がどう関わっているかというのは、区別して意識して聞いたほうがいいのかと

という感じが、今の話を聞いていていました。

【委員】 こちらは2番目に古い、境南コミセンの次にできたコミセンということですが、ここ数年でかなり改修工事が入っていて、特にトイレはすごくきれいになっています。そのあたりで利用のされ方に影響があったのかどうかもお聞きしたいです。古いだけに、もともとの学童の部屋だったところが別の部屋に変化したようなこともあるので、古い建物と利用のされ方の変化がうまくいっているのか、どういう課題があるのかも聞いてみたいと思っています。

#### ⑪緑町コミュニティ協議会

【事務局】 場所は市役所の北側、歩いてすぐのところ、緑町コミセンはあります。1日の利用人数は、平均 92 人で、直近2年間を比較すると横ばいとなっております。3年前、エレベーター設置工事があり、長期の休館があったため、比較は2年間としました。全部で8部屋ありまして、その中で利用割合が多いのがロビーと和室という結果が出ております。事業としては、輪投げで楽しもう、子どもまつりなどを行っております。

自己評価の成果にある、地域ふれあいまつりは、コミセンの隣にあるテニスコートの利用をしている事業です。「テニスコートを借りて、子どもの遊び場として開放するなどの工夫もあり、地域の人々と協力して成功させることができた」と出されております。また、一番下に、「地域団体と協力して行事運営を行えた」とも出ておりますので、地域とのかかわりがうまくいっているのではないかと思います。

【委員長】 利用者数について、工事前後で回復し切っていないような感じがあるのですが、何か背景はあるのでしょうか。エレベーターの工事のときには、全館閉まるのですか、それとも一部が閉まるのですか。

【事務局】 全館閉館をしています。

【委員長】 そうすると、活動が途切れるようになりますから、影響は大きいですね。

ここも、地域団体との協力が割と最近はできてきたというご指摘がありますが、手前みそですが、前の提言の後から、そのようなことが広がったということがあるのでしょうか。前は、他の団体との関連でコミュニティの運営委員会がどういう役割を果たすかというのが一つの提言のポイントでした。それで地域フォーラムなど、いろいろやりながら、そこを模索していく必要があるという話になったのですが、その影響でいろいろ広がってきたということがあるのでしょうか。それとも、それはあまり関係ないのですか。

先ほどのところもそうですけれども、地域団体との協力が指摘されている部分については、その辺の背景は、どういう経緯と、どういう考え方で変わってきたのか、前からそういったものがあるのかというのを聞くことができればと思います。

【委員】 それを意識してやっているのかどうかは分かりませんが、例えば一つの例として、どんど焼きを毎年、大野田小学校でやっているのですが、けやきコミュニティ協議会だけでやってきたのを、もっと地域をつなげようということで、緑町コミュニティ協議会に声をか



けて、それが今もずっと続いています。それで緑町コミュニティ協議会と、あと青少協やいろいろいるところを巻き込んでやっているの、緑町コミュニティ協議会も、そうやって地域の団体と一緒にやっていることができるのかもしれない。

例えば、防災も、やはりいろいろところに声をかけようということで、けやきコミュニティ協議会も入って、緑町コミュニティ協議会にも声をかけて、大野田小学校の地域ということですので、一緒にやっついこうよということで協力はし合っています。

【委員長】 それと関連するのですが、行事の場所が、必ずしもコミュニティセンターだけではなくてきている印象があります。これはやはり最近変わってきたところなのでしょうか。

【委員】 それはあると思います。やはり前の地域フォーラムで推奨しましたし、地域の団体をつなげようということで、やはり意識的にそういうことをやるようになってきていると思います。

【委員】 今までの緑町コミュニティ協議会だけでしていたことではなく、ほかの協議会、具体的にはけやきコミュニティ協議会からの働きかけにも応えていく形の中で、どんど焼きにしても、地域防災にしても取り組んでいっしやる姿勢が、ここ数年、しっかりと見えるようになってきたというところがあります。

それから、成果の中の、ふれあいまつりで隣接のテニスコートを借りてとありますが、これはなかなかできなかったことです。これはやはり今の代表に変わられてから判断されたことだと思います。またその前の周年事業のときには、四中の吹奏楽部生が、何人か来て演奏していましたが、中学校とのかかわり合いが現在どうなのかということも伺いたい要素の一つであります。

それから、特に注力している事業で、輪投げがありますけれども、これは緑町コミセンの地域の老人会との関係も含めて、輪投げがとても得意な、ずっと輪投げでは優勝し続けている老人会が控えていっしやるので、そういう意味での特徴的なことなのかもしれません。

課題の中で挙げていっしやる、『「コミセンだより」の作成の個人負担が重い』以下の記述のところは具体的によく伺いたいところの一つです。

それから、「コミセンだより」を毎月出している協議会、あるいは年に4回というところもあると思いますが、ここ2、3回ぐらいのものでもいいと思いますので、コミセンがどういうふうに情報発信しているかがわかるので、できたら資料の一つに加えていただきたいと、事務局をお願いしたいと思います。

【委員】 やはり緑町といいますと、UR と都営の住宅がありますので、その関わりも含めて伺ってみたいと思います。

【委員】 緑町コミセンは、小学校区でいうと、大野田小学校と千川小学校両方に関係しています。いろいろな学校の行事も、どちらに行こうかご苦労されている部分もあるので、そのご苦労について伺いたい。それから、緑町1丁目の方たちは、UR や都営があるので、なかなか緑町コミセンまでは来られない状況で、運営委員もなかなか参加できないような状

況なので、そのこのこれからの工夫をお聞きしたいと思います。

#### ⑫八幡町コミュニティ協議会

【事務局】 八幡町コミセンは、武蔵野中央公園を西に少し行ったところにあります。平成24年に移転をしたので、一番新しいコミュニティセンターです。1日の平均利用人数は101人。直近の3年間を比較すると、少しですが減少傾向というデータが出ております。全部で8つの部屋の中で、利用の割合を見ると、ロビーが圧倒的に多い状況となっております。

事業としては、kis クッキング、はちコミ納涼会、はちコミ広場などを行っております。

自己評価の成果のところでご覧になったところとしましては、「コミセンの事業行事、施設利用について地域住民の良き理解を得られた」、「利用者とのコミュニティづくりについて、窓口会議で常に方向性や活動状況を検討することができた」ということで、利用者の利便性について、非常に興味を持って検討していただいている協議会という印象を受けました。

【委員長】 それでは、八幡町コミュニティ協議会についてはいかがでしょうか。3年前に利用者がとても増えているのは、何か理由があるのでしょうか。それを除くと大体横ばいという感じですが、これは何か心当たりはありますか。聞いてみてもいいかと思いますが、何か理由があるのでしょうか。そこだけ突然非常に増えていて、あとは大体同じですので、その年に何か事情があったのかという気がしますが、そこを確認できればと思います。

【副委員長】 説明がありました、ロビーの使用率、回数また人数が非常に多いのは、何か工夫されているのか、普通の単なるロビーなのかを聞きたいと思います。

【委員長】 いくつかのコミセンでロビーがという話がありましたので、それは共通して、どのように活用しているかを聞けるとよいと思います。それが交流できると、またいろいろなやり方が出てくると思いますし、その機会にもできればと思いますので、それは注意していきます。

【委員】 ロビーの話につながるのですが、比較的新しいコミセンで、1階部分がほぼガラス張りになっています。2階は閉じていますけれども、そのあたりがロビーの使われ方に関係しているのか、逆にガラス張り過ぎて、視線を遮っているというお話も聞いたりもするので、実態的に、そういった設計がどう影響しているのかは、ぜひ聞いてみたいです。

【委員長】 開放的で入りやすい反面、あまりにも見られているからということですね。

【委員】 かなり特徴的ですね。

【委員長】 外を通る人からも見えてしまうから、制約があるということもあるのでしょうか。

【委員】 千川小学校が一番近いので、千川小学校との関係はしっかりできていると思いますが、都立武蔵野北高校との関係も、多分、学校評価のところに入っていらっしゃるので、その話も伺いたいです。

それから、自己評価の「④利用しやすいコミュニティづくり」がランクですが、あれだけ部屋がたくさんある中で、どうして自己評価でこうされたのか、どういう判断でそう

なったのか、具体的に伺いたいのが一つです。その前の平成 26 年がで、それからずっとで来ています。どういうふうに判断されたのか。運営委員の中での、あるいは役員の中での、どういう方がこの評価を下されたのか。運営委員全員で評価したのか、役員で評価したのか、委員長が 1 人でされたのかを含めて、どういうこととして評価されてこうなったのかということ具体的に教えていただきたいと思います。

【委員】 やはり地域のニーズに合った事業が少ないということが課題に出ていますので、それも含めて、ニーズをこれからどうとっていったほうがいいのかなどを伺いたいと思っております。委員がおっしゃっているように。

【委員】 どうしてそうなったのかということと同時に、これからのコミュニティづくりをどう目指していくかという観点から伺いたいという意味です。

【委員】 そうですね。私もそのあたりを伺いたいと思います。

【委員】 どういう見方からこうなったのかという意味と、それから、ほかのいろいろな団体等を含めて、コミュニティづくりという観点からして、今後期待したいという意味で申し上げます。

【委員長】 概要の紹介でもあったように、工夫しているところに関しては、色々ないきさつがあって、このように変化してきたということだろうと思いますので、その経緯と成果をお尋ねできればと思います。

【委員】 こんなことを聞けるかどうかはわかりませんが、八幡町コミセンは新しくなってから、今までずっとやってこられた方ががらりと変わってしまいました。担い手が若い世代に移ったという経緯もあって、いいコミセンにしようと思って一生懸命頑張っていて、いろいろ勉強してやってこられた方と、新しくコミセンを担っていく方たちとの関係性は、今、どうなっているのか聞いてみたいです。

【委員長】 たしか、新しくなって、若いお母さんたちの関わりが多くなったということまでは、前に聞いたことがある気がします。運営委員もかなり変わっていったという経緯があるわけですね。だから、その辺のところ、どのように評価しているかを聞きたいです。

では、次に、関前コミュニティ協議会の概要をお願いします。

### ⑬関前コミュニティ協議会

【事務局】 関前コミセンは、三鷹駅と武蔵境駅の間ぐらいに位置して、井ノ頭通りを少し北に行ったところにあります。こちらにも分館を持っています。分館は、吉祥寺西コミセンと同じように、もともと市の出張所でした。そちらを廃止することになったのですが、地域の希望を取り入れて、分館として、今も利用しております。状況としても吉西と同じように、常に人がいるわけではなくて、施設の予約があったときに、鍵の施錠などを管理人さんにしていただいている状況でございます。

1 日の平均利用人数は、本館が 145 人、分館が 13 人。全体の部屋としては 10 部屋ある中で、利用割合を見ると、ロビーとレク室、音楽室と学習室の割合が多いコミュニティセンタ

一となっております。分館は3部屋ございます。

事業としては、関前ミュージックフェスティバル、七夕づくりなどを行っております。

自己評価の成果の中で注目したところが、「若い世代が自主的にコミセンを利用するようになって、今後のコミュニティづくりの担い手として期待ができる」、「昨年に引き続き、運営委員の新規加入があった」でございます。

また、課題として注目したところは、三つ目の「行事参加者（運営委員・協力員含む）の拡大や、市の行事との重複を改善する必要がある」というところで、具体的に何かというのが気になったところでございます。

【委員長】 ここは新しい人が増え始めているような感じがあるのですが、この辺の秘訣や背景を聞いてみたいところではないでしょうか。

【副委員長】 事業のところ、多分、説明があるのだろうと思うのですが、関前ミュージックフェスティバルというのは、利用者個人・団体の音楽の祭典をどのように企画していったのか。利用者同士のつながりというものを企画したというのは、ユニークだと思いますので、聞きたいと思います。

【委員】 先ほど、ほかの協議会のところでも申し上げましたけれども、協議会と地域社協とのつながりのことです。七夕づくりを挙げていらっしゃるけれども、ほかにも共催までいかないまでも、協力関係にあるものがあるか、地域社協とのつながりを伺いたいと思います。

それから、隣接している関前南小学校と、日ごろ接点をどのように持っていらっしゃるのかが、この記載からはあまり読み取れないのですが、どうなのかというのがございます。関前の夏の祭りでは花火がとてもユニークで、武蔵野市内では一番大きな花火を上げていらっしゃる聞いています。学校でなさっているわけですが、そこに協議会がどうかかわりを持っていらっしゃるのかという観点からも伺いたいです。

あとは、地震があつてから、学校のフェンスを撤去されたことがあつて、コミセンと隣接しているところですので、どんなやりとりが持たれていたのかということも伺いたい一つではあります。

【委員長】 自己評価の近年の傾向というところで、こういう団体とは割と改善しているが、こちらは薄くなってきたというような記述がありますので、それを含めて地域団体との関連を確認させてもらえるといいかと思います。

【委員】 ほかの協議会でも少しあつたのですが、ここは特徴的な事業として、調理事業がいくつもあります。例えば男性向けの料理教室や、地元の「関前手打ちうどん作り」を実施したとか、そのあたりについて施設を含めてお伺いしたいと思います。

#### ⑭西部コミュニティ協議会

【事務局】 西部コミセンは、武蔵境北口から北西に徒歩で2・30分ぐらいのところにあります。こちらも体育施設を持っているコミセンです。1日の平均利用人数は220人。直近3

年間を比較すると、増加傾向にあります。部屋数は非常に多くて、16 部屋あります。そのうち利用割合が多いのは、体育室、視聴覚室、ロビーとなっております。事業としては、気功・太極拳交流会、卓球大会、ちびっこ運動会などを行っております。自己評価で注目したところが、「運営委員が積極的に企画の段階から参加し、来訪者のニーズは何なのかをよく検討した」、「今まで少なかった 30 から 40 代の運営委員を増やすことができた」、「情報発信に SNS を取り入れることができた」などございます。

【委員長】 こちらも新しいメンバーが出てきており、SNS を使うなど、新しい試みがなされているようですから、その辺の背景や工夫を聞けるといいのではないかと思います。

ほかはいかがでしょうか。

【委員】 こちらも、西部コミセンという名称ですが、桜堤の UR の住宅、それから、もと団地があったところに新たなマンションが結構建てられておりますので、桜野小学校の児童も非常に多くなっている状況があり、30 代、40 代の新しく入ってきた方々とうまくやっていらっしゃるのではないかと思いますので、そのあたりを伺ってみたいと思います。

【委員長】 たしか、ここは団地の建てかえなどで住民の入れかわりがあったところですね。そういう地域の変化は当然、背景にあると思います。

【委員】 亜細亜大学が近いので、以前は亜細亜大学との交流もあったようです。今回の実施事業の中からは見えないのですが、今どうなっているのか、活発に交流しているのかどうかもお聞きしたいと思います。

【委員】 役員をどのように選ばれているのかが気になります。外から見ていて、事業の継続性を含めて、コミセンの中を貫いているものが、役員のトップが変わることによって、変わっているのか、変わっていないのか。継続的な事業があるのか、継続的なコミセンとしての基本的な考え方があるのかどうか。ちょっと微妙な質問ですが、その声を聞いてみたいと思います。

【委員長】 たしか、西部コミセンは地域的に離れていることもあって、前から協議会としての性質は特徴のあるところだったと思います。そういうところの良さと、さらに地域の事情が変わったところでの動きが一つポイントになるかと思います。そこはぜひ当事者の方々のご意見を聞けるといいと思います。

【副委員長】 成果の中で、「今まで少なかった 30～40 代の運営委員を増やすことができた」とありますので、何か増やす秘訣があるのかどうかをお聞きしたいと思います。また、30 代、40 代の運営委員の方にどういう役割を果たしていただいているのかを聞きたいです。

#### ⑮境南コミュニティ協議会

【事務局】 境南コミセンは、武蔵境駅の南口から徒歩 10 分か 15 分ぐらいのところにあります。武蔵野市で最初のコミュニティセンターです。1 日の平均利用人数は 248 人。過去 3 年間を見ますと、若干ではあるのですが増加傾向にあります。全部で 14 の部屋がありまして、施設の利用割合を見ると、ロビー、体育館、学習室の利用割合が他と比べて高いとい

う結果が出ております。こちらも体育施設があるコミュニティセンターです。事業としては、モーニングハイク、カラオケ大会、囲碁大会などを行っております。自己評価の成果で注目したところは、「親子の利用者増加への取り組みが実り、文化祭や健康づくり支援センターとの共催事業等に多くの参加者を迎えることができた」ということであります。他の団体との連携がうまくいっているのではないかと思います。

【副委員長】 私の認識だと、かなり特色のある運営をされています。特に運営委員の構成が、いろいろな団体とか、あるいは住民代表の形で運営委員が選ばれているような感じがあるので、その良さについてお聞きしたいと思います。

【委員長】 ここは、武蔵野市では珍しく、丁目ごとに代表が出るという構成の唯一の協議会です。また、親子の利用者増加の取り組みというのは、具体的にどのようなことをやったのかは興味深いところです。子どもに働きかけて親を引っ張り出したのか、その辺を聞いてみたいと思います。

【委員】 西部コミュニティ協議会のところにもありましたが、主な実施事業で、西部コミュニティ協議会、桜堤コミュニティ協議会とともに3協議会の絆を深めたとあります。西側で、どういう形で連携をとり合っているのかも含めてお伺いしようと思います。

【委員】 今おっしゃっていた3協議会でのネットワーク事業は、私も何年前に携わらせていただいたことがあります。それぞれの協議会でのこの事業の位置づけ、それが地域づくりにどのように寄与しているのか、コミュニティづくりにどう関連しているのかということを含め、お聞きしたい。それから、協議会のネットワーク事業以外での地域づくりについて。きちりとした運営委員の組織から出ているというか、丁目から出ていることも含めて、構成がはっきりしているのか、そのメリット、デメリット、それから代表がかわられたときに、あまり継続性がないような話もありましたので、そのいいところと悪いところについてお聞きしたい。運営委員にはずっと交代があるわけですがけれども、もし課題があるとすればどのようなことかを伺いたいと思います。

【委員長】 次の桜堤コミセンは小さいコミセンであることもあって、昔から西部の三つの連携を持っている背景があったかと思いますがけれども、それが現在、どのような形で進んでいるのかもあるかと思います。

ほかはいかがでしょうか。

【委員】 こちらはたしか、三鷹市が近いので、三鷹市からの利用者もかなりあると伺っています。その工夫や問題があればお聞きしたいと思います。あと、こちらと西部と吉祥寺北の、大きな体育室があるところについて、体育室の使われ方も詳しくお聞きしたい。もともと体育室に描いてあるコートのラインとは、多分、違う使われ方をしているはずで、工夫して使われていると思いますので、どのように工夫されているのかも利用実態として聞いてみたいと思います。

#### ⑩桜堤コミュニティ協議会

【事務局】 桜堤コミセンです。場所は小金井公園の東側すぐのところにあります。1日の平均利用人数は60人。過去3年間を比較すると、若干ではあるのですが減少傾向にあります。全部で六つの部屋がございまして、その中で、ホールと幼児室、会議室の利用割合がほかと比べて高いという傾向が出ております。事業としては、天体観望会や人形劇などを行っております。自己評価で注目したところは、まず成果では、「子どもが参加できる行事が多く行われ、参加者も増えてきた」というところです。課題として注目したのが、特に後半の部分ですが、「行事が多く計画や実行に振り回されている感があり、年間を通してじっくり考える場が必要である」というところです。

【委員長】 規模が小さいためと、周りに大きいコミセンがあるので、運営委員がなかなかこちらには来ないというもどかしさがあるということを前に聞いたことがある気がするのですが、現状はどうなっているのかをお聞きしたいと思います。また、子どもが参加できる行事を行ってきているところで、どのような工夫をしているかを聞きたいと思います。

ほかはいかがでしょうか。

【委員】 こちらのコミセンですと、上水北公園の敷地と一緒にしているので、その使い方とか、公園があることで子どもの事業が多いのかということも伺ってみたいと思っております。

【委員】 小さいコミセンとして十分頑張っていると思うのですが、もう少し広くなったら、こうしたい、ああしたいという希望があったら聞いてみたいです。

【委員長】 ここは本当に典型的に施設の限界がはっきりしたところですから、もしこういうことがあれば、かなり違っているといったご意見もいろいろ出せるといいと思います。

【委員】 主な実施事業の中に武蔵野市桜寿会との共催事業とあります。これは老人クラブですけれども、現在の老人クラブの会長が、前にここのコミュニティ協議会の代表でもいらした方なので、その関係もあるのかと推しはかります。

あと、自己評価の課題で、「地域の課題や問題などを話し合い～」というところは、以前はできていたことが、今、できなくなってしまうのかという観点でお尋ねしたいことの一つです。いきなりこうなったわけではなくて、できていたことが何かの原因でできなくなってしまったのか、ずっと前からこういうことは課題なのか、そこも具体的に伺いたいことの一つです。

これからのコミュニティづくりのところでは、委員長ご存じのように、このコミセンの代表は、担い手の人で、力を尽くしていらした方なので、それがこういう課題となっているとしたら、何か大きな要素があったのかということは伺いたい一つです。

【委員長】 ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、皆さん、だんだん慣れてきたのと、ご協力いただいたおかげで順調に進みましたね。とりあえず全部の協議会について、これを聞いたらどうかということで、記録については事務局にお願いしたいと思います。

前回もやってきて、だんだん共通して聞くべきことや、一部のコミセンで特に聞いたほう

がよさそうなことについてイメージができてきたかと思しますので、最初に確認した進め方に沿って、当日は進められればと思しますので、よろしく願いいたします。

何か事務局から補足の説明はありますか。

【委員】 意見交換会で、例えば、私たちが自分のコミセンに当たった場合、私たちは発言できますか。

【委員長】 基本的に、少し様子を見ていただいて、いろいろ話している中で補足をしていただくというのいいのではないかと思います。あとは、ぜひこのことを言ってほしいというという形で、水を向けるような質問はなさってもよいのではないのでしょうか。

【事務局】 想定では、例えば委員の場合は協議会の代表もされていますので、その場合は協議会側に座っていただいて、評価委員会と意見交換をしていただこうと考えております。

【委員会】 委員の場合は特別の話になるので、それはそちらのほうに行ってくださいということで、ほかの方は、いろいろ関わりがある方もいらっしゃると思しますので、しばらく様子を見ていただいて、ぜひ言ってほしいということは、水を向けるような質問などはしていただいていいのではないかと思いますので、そのように対処していただければと思います。事務局より何か事務連絡はございますか。

【事務局】 ありがとうございます。もう一度、流れだけ確認をしておきたいと思しますので、資料2をもう一度お出しいただいてもよろしいでしょうか。「意見交換会について」というタイトルのものがございます。こちらの「2. 意見交換会の進め方」になりますけれども、初めに事務局から進め方を説明した後、「共通質問①コミュニティづくりについて」の質問に入っていくこととなります。事前調書の問3と4について、イメージですけれども、例えば、最初に吉祥寺東コミュニティ協議会にお伺いをするときに、事前調書3の「大切な事業」から聞いてみたい事業を質問する、この割り当てを事務局のほうで、例えば委員にお願いしますという形で、事前に依頼をさせていただきますので、事前調書が届きましたら、吉祥寺東コミュニティ協議会のところを見ていただいて、ここを聞いてみたいということをお考えいただければと思います。同様に、事前調書の問4のつながりの取り組みについては、例えば副委員長お願いしますと事前に割り振りをさせていただくというイメージを持っていただければと思います。個別質問につきましては、今日お配りしている参考資料横表は前回議論したもので、今日議論していただいたものが、この続きという形で、一覧表でお渡しすることとなりますので、オーソドックスに上から聞いていただいてもいいですし、自分が聞きたいと言ったものがあれば、そちらをランダムに手を挙げて聞いていただく形でもいいかと思っております。時間的には、どうしても限られておりますので、こちらの進行にある時間区分でおおむね質問は切って、次の項目に行くという形でお考えいただければと思います。

資料につきましては、そろい次第、お送りさせていただきますので、事前にお目通しいただければと思います。後ほど、詳しい意見交換会当日の集合時間ですとか、協議会との時間



ですとかをお配りするのですが、3日間に分けて行います。1日目が8月7日水曜日の10時から3時半までで6協議会との意見交換を行います。2日目が8月20日火曜日、3協議会と行いまして、10時から12時を予定しております。最後の3日目は8月21日水曜日です。この日は7協議会と意見交換をやっていただく予定でございまして、10時からスタートして最後は4時半となっております。

【委員長】 まだ先ではございますが、日によっては長丁場ということもありますので、ご協力をお願いいたします。段取りについては、今言ったように、事務局からまた連絡があるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。それでは、ご協力いただきまして、少し早目に終わることができましたので、天候も心配ですので、終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。何かありますか。

【委員】 冒頭、第六期長期計画の7ページの基本施策の4番でおっしゃっていただきましたけれども、今後、パブコメなり、それから市民の意見交換会が22日にあり、また30日が最後ですが、それを踏まえて、この計画案のところの文章が、若干ボリュームが増えてくることはございますか。それを期待したいところですし、評価委員会の存在も、もう少し加筆していただければいいという気持ちを持っているのですけれども、いかがなものでしょうか。パブコメなり市民の意見交換を踏まえて、評価委員会の書き方を、もう少し具体的にというか、文章スペースをとられていただくようなことは、事務局としてというか、これは策定委員会の問題でもあるとは思いますが、事務局としての意見を出せる余地はあるのでしょうか。

【事務局】 ありがとうございます。ボリューム、書きぶり等々につきましては、最終的には、やはり策定委員会のほうが判断をすることになるので、ここでは申し上げられないと思っております。コミュニティ評価委員会の議論が、例えば現時点で後半になっていれば、おそらく書き込めることがもう少しあったのではないかと思うのですが、タイミング的に、今、検討が始まって、これから各協議会と意見交換をするという段階ですので、包括的なというか、もやっとした書きぶりになってしまっているところは、いたし方ない部分があると、私のほうは感じております。実際、パブコメとかに出てきたものについては、長期計画の策定委員が一つ一つ見ておりますので、それによって、もしかしたら加筆の可能性もあるかと思えます。

【委員】 十分、検討していただいて、踏まえていただいて、計画に反映していただきたいというのが、お願いしたことです。

【委員長】 パブコメは職員もできるのですか。

【事務局】 はい。

【委員長】 では、ぜひそういう観点から出していただければと思います。

【副委員長】 先ほどのことに戻ってしまって、申し訳ないのですが、意見交換会の当日の資料は、事前調書は各協議会も持っているし、評価委員会も持っているということですね。それ以外に、何かありますか。質問をする一覧表があると思っておりますが、両方共通の資料とし

では、それのみですか。利用者アンケートは、どういう形ですか。

【事務局】 利用者アンケートは、意見交換会に間に合うように準備いたしますので、意見交換のときには、委員の皆さんのところに資料として置いてある状態にします。

【副委員長】 それは各協議会には行かないのですか。そこを確認してもらって、必要な資料が落ちないようにしていただければと思います。

【委員長】 各協議会にも渡せなくはないのでしょうか。

【事務局】 利用者アンケートについては、集計がぎりぎりになってしまう可能性があります。各コミュニティ協議会に事前にお渡しできるかどうか、まだスケジュール確認できていません。ただ、別に隠すものでもありませんので、できれば両方が持つ形でやりたいと思います。事前調書はお互いが持っているという形です。それから、質問項目につきましても、こういったことを聞きたいというものについては、協議会のほうにも持っておいて、この共通質問と個別質問も、事前にお渡しをして、お互いが、この質問があるとわかった上でやるのが良いと思っております。こちらの利用状況の一覧については、委員のみが持っているイメージで考えておりました。

【委員長】 市民意識調査は、まだ間に合わないでしょう。

【事務局】 そうですね。

【委員長】 よろしいでしょうか。それでは、詳しくは、また事務局から連絡があるかと思えます。そのときに過不足があれば、またいろいろご意見いただければと思います。

### 3 閉会

以上